

令和5年8月8日

総務部総務課長 様

まなび推進課長 大崎 伸一

会 議 要 録

名 称	令和5年度 第1回西予市放課後子ども総合プラン運営委員会	
開 催 日 時	令和5年7月26日(水) 10:00~11:50	
開 催 場 所	西予市教育保健センター 4階 大ホール	
出席者	委員 計21名	会長：河野直樹、副会長：大塚晶司、委員：岩本数明、西川浩司、西川博幸、福岡順子、三好仁美、松浦圭、宇都宮伸郎、金子文、稲井稔己、山田里香、織田はつみ、奥山孝司（代理）、宮本純夫、清家久美子、梶原結花、奥川愛香、仲口由美、福島陽香、河野紗弥香
	担当 課等	教育部長：谷口佳代、大崎伸一、青木志郎、宇都宮博、森本裕恵、池田瑞恵、紀熊太智、中村奈央子（事務局） 計8名
議事内容 (要旨)	<p>1 開会</p> <p>2 委嘱及び任命</p> <p>3 開会あいさつ 谷口教育部長</p> <p>4 自己紹介</p> <p>5 会長、副会長の選任について 運営委員会設置要綱第3条に基づき、自薦・推薦について諮ったがどちらもないため、事務局提案について諮り、会長に河野直樹氏、会長指名にて副会長に大塚晶司氏が選任される。</p> <p>6 協議事項</p> <p>(1) 西予市新・放課後子ども総合プラン行動計画について 【事務局説明】 質疑応答なし</p> <p>(2) 放課後児童児童クラブの計画（実施状況）と課題</p> <p>① 放課後児童健全育成事業について 【子育て支援課説明】 質疑応答なし</p>	

② 各放課後児童クラブの実施計画・課題等について

【各放課後児童クラブからの報告】

※報告の内主な課題を記載

○トトロクラブ

- ・河川が施設の目の前にあり、警報時の判断が難しい。
- ・4月以降、数名の方が料金のこととて退会された。各法人等で料金設定の見直しができるのであれば、検討していきたい。

○ななほし中川

- ・待機児童2名
- ・不審者等が侵入した時など、学童の建物は入口が1箇所しかなく、窓も固めなのでどのようにして避難させるか。
- ・支援員が高齢化してきており、支援員の確保が難しい。
- ・料金の見直しがあればいい。

○明下田クラブ

- ・7月1日避難警報発令により、途中閉所とした。
- ・保護者からいっそのこと無料になればいいのになという意見があった。

○なかよしクラブ

- ・待機児童2名
- ・今年度、えひめ子どもの城イベントに当選した。
- ・遊ぶスペースが少ない。
- ・学童の〇〇の取り入れ方、〇〇をスムーズに導入したい。
- ・長期休暇中は長時間になるため支援員の負担が大きい。アルバイトも併用しているが難しいところがある。

○のむらキッズ

- ・受け入れ者数40名に対し、登録者数が67名。多い時には50名近くの児童が利用している。一人一人に関わることができない。
- ・先日の豪雨時にレベル4になったので閉所とした。
- ・スタッフの高齢化
- ・新型コロナウイルス感染者が出てきている。

○しろかわキッズ

- ・支援員の確保がかなり難しくなっていて、子どものプール遊びとかも制限がかかってしまう状況。

○てっぺん広場

- ・支援員の不足
- ・料金については、既に開設している施設が1カ月6千円ということから、1日あたり200円という設定にしている。

会長	<p>課題として、①警報が出た時の判断が難しい。②料金設定について。③支援員の不足。④新型コロナウイルスが5類に移行したことによる対応。これらが共通の課題だったと思う。料金体制について市からは何かないか。</p>
子育て支援課長	<p>料金については度々出てくるが、市としては月6千円程度ということで開所当時からお願いしている。</p>
会長	<p>ということは、各施設ごとに自由に料金設定をすることは難しいということか。</p>
子育て支援課	<p>そのとおり。一応基準を6千円としている。</p>
トトロクラブ	<p>保護者の本音としては、家の近所が一番利用しやすいと思うが、料金も大事で一番保護者はシビアに考えている。無償化していただくのが一番いいが。運営していくうえで、料金で選ばれるとなると、、、どう言ったらいいかわからないが、ここではやめておく。実際に料金を理由に退所される方がおられるということは知っておいていただきたい。</p>
会長	<p>実際、児童クラブはお金がいるし、放課後子ども教室はいらない。子ども家庭庁が新設されたのでその辺の整理ができるかと思ったがされなかった。今後の動きを見ていく必要がある。 また、警報が出てきた時にはどうするのかということだが。</p>
子育て支援課長	<p>令和4年4月に策定した『西予市内保育所等の災害時における臨時休園等のガイドライン』において、警戒レベル4の場合、保育所及び放課後児童クラブとも休園としているが、保護者の就労の関係でどうしても預けないといけないこともあるので、災害対策本部と連携をして、どうしても閉めないといけない場合は閉める。7月1日は下川で土砂災害の警報が出たので、相談して休園とした。基本的には保護者の就労支援ということで開けたいとは思っている。</p>
会長	<p>保護者のニーズもあるので課と連携を密にして対応していただきたい。</p> <p>(3) 放課後子ども教室等の計画（実施状況）と課題 ① 地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業 【まなび推進課説明】 質疑応答なし</p>

	<p>② 各放課後子ども教室の実施計画・課題等について 【各放課後子ども教室等からの報告】 ※報告の内、主な課題を記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ○田之筋放課後子ども教室 <ul style="list-style-type: none"> ・国の補助対象日数が250日から200日に、時間が1日あたり4時間以内と、大幅に要綱の変更があった。 ○N-ジオチャレ 特に課題なし ○多田放課後チャレンジクラブ 特に課題なし ○中川放課後子ども教室 <ul style="list-style-type: none"> ・支援員やボランティアの確保 ○石城放課後子ども教室 特に課題なし ○下宇和放課後子ども教室 特に課題なし ○学び舎 特に課題なし ○土曜教育活動 特に課題なし ○家庭教育支援事業 特に課題なし <p>③ コミュニティ・スクール 【学校教育課説明】</p>
<p>宇和町小学校長</p>	<p>コミュニティ・スクールの中にコーディネーターを配置して、その方が中心になって学校運営協議会も一緒に運営していただければもっと変わらと思う。</p>
<p>宇和中学校長</p>	<p>中学校では地域コーディネーター等の役割を、地域づくり活動センターの方に実質やっただいている感じがする。</p>
<p>会長</p>	<p>CSについては地域との協力が一番大事。地域づくり活動センターと学校とより密な連携が必要。今後CSは活性化しなければならない。その結果、移住してくるような人達が増えれば良いと思う。</p>
<p>まなび推進課事務局</p>	<p>7 その他 これまでに会議等で出された課題・ご意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域コーディネーターについては喫緊の課題。可能であれば来年度、数カ所の学校に配置できればと思っている。 ○放課後児童クラブと放課後子ども教室との交流について、一体型の推進は状況的に難しいが、連携型は積極的に進めていただき、教育委員会もできる範囲で協力していきたい。

<p>学校教育課長</p>	<p>○多田小、中川小、石城小の3校が一か所で学童保育をしているため、学校のイベントを同じ日にしていただきたいという意見について、同日にすることは当然可能。これまでそういったすり合わせができていなかったのだと思う。今後校長会等と連携し、いい活動につながるようにしたい。</p> <p>○地域コーディネーターについては、人材確保等難しい問題ではあるが、地域づくり活動センターと学校との連携をする中でコーディネーター的役割をすることがあってもいいと思う。小規模校などは特にスムーズにできるのではないかと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>放課後におけるいろいろな活動があるが、保護者がその内容をわかっていない、周知できていないところがある。それぞれの活動については周知をしていただきたい。</p> <p>学び舎については、4月に入って募集をかけるのではなく、前年度中から周知し、募集をかけるようお願いしている。その方が、スムーズである。</p> <p>いろいろな課題が出てきた。地域づくり活動センターが発足したが、地域と連携しながらいろいろな子どもたちの放課後を保障できる活動が充実すればいいと思う。西予市独自の取組みがさらに深まればいいと思う。</p> <p>8 閉会あいさつ 【副会長】</p> <p style="text-align: right;">11 : 50</p>